

2006. 03. 22

第37回「博報賞」推薦要項決定

財団法人博報児童教育振興会（理事長近藤道生）は、第37回博報賞の推薦要項を決定し、3月22日付で発表しました。

昨年度と同じ4部門「国語・日本語教育部門」「特別支援教育部門」「文化教養育成部門」「教育活性化部門」で4月1日より推薦を受け付けます。

今年度の博報賞は、「国語・日本語教育部門」「特別支援教育部門」「文化教養育成部門」「教育活性化部門」の4部門が贈呈対象であり、教育委員会、学識経験者など第三者から推薦された候補者の中から、審査委員会（委員長 杉戸清樹 国立国語研究所所長）において審議決定されます。

近年の教育改革の潮流の中で生まれた新しいモデルとなる取り組み、ユニークな実践、革新的な試み、また地道に長年取り組まれている活動などをご推薦ください。

本年度は4部門において、団体、個人あわせて25件前後に博報賞が贈呈されます。受賞者には、団体、個人共に、賞状と副賞金（団体100万円、個人50万円）が贈られ、個人賞には別に記念品が贈られます。

また、4部門の受賞者の中から特に奨励に値するものとして文部科学大臣奨励賞が贈られます。

今後の主なスケジュールは次の通りです。

【推薦受付、審査、贈呈式などに関するスケジュール】

博報賞推薦受付期間	2006年4月1日（土）～5月31日（水）
博報賞の推薦	都道府県市区町村教育長、教育研究団体の長、その他博報賞の対象となる4部門の学識経験者などによる推薦
推薦要項・推薦書用紙	都道府県各教育委員会、関連教育研究団体等に郵送当財団ホームページに添付
博報賞の審査	2006年6月上旬～7月中旬
博報賞の発表	2006年10月上旬
博報賞の贈呈式	2006年11月10日（金）

博報児童教育振興会とは

財団法人博報児童教育振興会は(株)博報堂が 1895 年創業以来行ってきた、教育、文化面における数々の後援事業の精神を引き継いで、博報堂の創立 75 周年にあたる 1970 年、児童教育を振興する目的で文部省認可団体として誕生しました。

以来、次代を担う子どもたちの「豊かな人間性育成」の支援を目的に活動を続けています。

博報賞とは

私たちは「豊かな人間性育成」を実現するための全ての基盤となるのが「ことば」と「文化」であると考えます。「ことば」はモノを識別したり、考えたりするもとであり、豊かな感性を育みます。そして、「文化」は自己を知り他を理解し、生き方や価値観を醸成していく要であります。そうした考えから、博報賞は、「ことば」と「文化」を重視した 4 つの部門で構成されています。

博報賞は、次代を担う子どもたちの「豊かな人間性育成」に献身、努力されている学校、実践団体および先生や教育実践者を顕彰する事により、教育現場を支援いたします。

以上

<お問合せ先>

財団法人 博報児童教育振興会

〒101-0054 千代田区神田錦町3-22

統括局 奥田敦子 石井裕美

TEL 03 (3233) 6788

FAX 03 (3233) 6325

E-MAIL hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

HP <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>